

授業内容（サブタイトル、Stepタイトル） 1単位（45分）にサブタイトル1つ 1単位のStepは3または4		単位数	コマ数 (1コマ 45分)	授業時間 (分)	担当者	H30 試行対象
オンラインセミナー		3		135		
1. 日本語教育・日本語教育機関の変遷						1コマ
サブタイトル①	言語教育界のパラダイム・シフトをめぐって	1.5	1	67.5	西原鈴子	
Step1	言語学習・教育のパラダイムシフト					
Step2	日本語教育界へのパラダイムシフトの影響					
Step3	これからの日本語教育					
2. 日本の留学生政策と現状						
サブタイトル①	留学生政策と日本語教育の位置付け、留学生の現状	1.5	1	67.5	佐藤由利子	
Step1	世界における留学生の受入れ状況					
Step2	日本における留学生受入れと日本語教育の役割、労働市場における期待					
Step3	留学生の現状					
3. 日本語教育機関の歴史と現状						
サブタイトル①	日本語教育機関の変遷と現状	3	2	67.5	佐藤次郎	
Step1	上海事件、日本語教育機関の運営基準、日本語教育振興協会の設立と審査認定事業の開始					
Step2	日本語教育振興協会のその他の事業の展開、事業仕分け、国が告示基準を制定実施					
Step3	日本語教育機関の留学生の受入れの推移					
Step4	日本語教育機関の今後の課題					
サブタイトル②	日本の留学生受け入れ施策---留学生の入国と在留の手続き	3	2	67.5	高山泰	1コマ
Step1	日本語教育機関の告示基準					
Step2	在留資格・在留期間と入国審査					
Step3	在留審査と日本語教育機関修了後の進路					
4. 日本語留学生の背景～モチベーションと教育制度～						
サブタイトル①	モチベーションと教育制度Ⅰ	3	2	202.5	奥田純子	
Step1	学生の背景と授業					
Step2	東アジア① 中国					
Step3	東アジア② 香港・台湾・韓国					
Step4	東南アジア ベトナム・インドネシア					
Step5	南アジア ネパール・スリランカ・インド周辺					
Step6	欧米 スウェーデン・イギリス・アメリカ					
サブタイトル②	モチベーションと教育制度Ⅱ				山本弘子	
Step1	東南アジア ベトナム・インドネシア					
Step5	南アジア ネパール・スリランカ・インド周辺					
Step6	欧米 スウェーデン・イギリス・アメリカ					
5. 日本語の試験						
サブタイトル①	日本語のテストの目的	3	2	202.5	伊東祐郎	
Step1	大規模試験と小規模試験					
Step2	分類の視点とテストの目的					
Step3	テストの役割と機能					
サブタイトル②	テストの役割と機能					
Step1	信頼性・妥当性・実用性・真正性・相互性					
Step2	教師作成テストの実際					
Step3	口頭能力のテスト方法(会話テスト)					
Step4	波及効果					
6. 進路選択関連情報						
サブタイトル①	キャリア教育とは	3	2	135	工藤尚美	
Step1	キャリア教育とは何か					
Step2	日本におけるキャリア教育の現状と特徴					
Step3	留学生のキャリア教育					
サブタイトル②	留学生への進路支援					
Step1	キャリアデザインの基本					
Step2	進路支援の実践①(進学)					
Step3	進路支援の実践②(就職)					
7. 留学生の異文化受容・適応とその支援						
サブタイトル①	異文化受容・適応への理解、留学生の困難	3	2	135	加賀美常美代	
Step1	異文化接触とは					
Step2	異文化受容と適応					
Step3	留学生の抱える困難や悩み					
Step4	留学生の精神衛生に影響を及ぼす要因					
サブタイトル②	留学生の危機介入と予防的支援					
Step1	留学生の問題解決の難しさ					
Step2	留学生の危機と危機介入					
Step3	留学生の援助資源の確認と連携					
Step4	留学生の予防的援助体制作り					

授業内容（サブタイトル、Stepタイトル） 1単位（45分）にサブタイトル1つ 1単位のStepは3または4		単位数	コマ数 (1コマ 45分)	授業時間 (分)	担当者	H30 試行対象
8. 留学生のための教材・教具のリソース		3	2	135	保坂敏子	2コマ
サブタイトル①	教材・教具のリソースの種類と特徴					
Step1	モダリティやメディアによる分類					
Step2	教材・教具の背景理論					
Step3	外国語教育と教材・教具					
サブタイトル②	教材・教具としてのリソースの活用					
Step1	体験・経験活動の教材化					
Step2	デジタル・コンテンツの活用					
Step3	ICTツールの活用					
9. 著作権		3	2	135	我妻潤子	2コマ
サブタイトル①	著作権の内容					
Step1	著作物・著作者					
Step2	権利の内容① 著作者人格権、著作財産権（1）					
Step3	権利の内容② 著作財産権（2）					
Step4	保護期間					
サブタイトル②	著作物の利用について					
Step1	権利者の「了解」を得る					
Step2	「了解」を得ない場合 ①写り込み ②引用					
Step3	「了解」を得ない場合 ③「教育機関」での複製					
Step4	「了解」を得ない場合 ④ 利用規約などで複製等が可能な素材があるサイト					
10. 統計処理（テスト・評価・成績管理）		3	2	135	島田めぐみ	1コマ
サブタイトル①	統計処理の基本					
Step1	統計的記述と統計的推測の違いを理解する					
Step2	データの特徴を表す					
Step3	2変量のデータの関係を分析する					
サブタイトル②	テスト・評価・成績管理の統計処理					
Step1	テスト結果を分析する					
Step2	各種評価の結果を分析する					
Step3	成績を管理する					
11. 著作権（ワークショップ）： ZOOM集合研修		2	2	90	我妻潤子	2コマ
12. 統計処理（ワークショップ）： ZOOM集合研修		2	2	90	島田めぐみ	
オンライン映像講義計		31	22			

授業内容（サブタイトル、Stepタイトル） 1単位（45分）にサブタイトル1つ 1単位のStepは3または4		単位数	コマ数 (1コマ 45分)	授業時間 (分)	担当者
13. 演習（実践力）					
13-1 目的別指導法					
サブタイトル①	担当レベルを知ろう	3	2	135	倉本文子
Step1	日本語レベルの全体像				
Step2	担当クラスの個々の学生のレベルを引き上げる				
Step3	担当クラスの発話力を引き上げる				
サブタイトル②	授業に魅力を加えよう				
Step1	“Attention”をプラス				
Step2	“Relevance”をプラス				
Step3	“Confidence”をプラス				
Step4	“Satisfaction”をプラス				
13-2 話す・議論の指導法					
サブタイトル①	初級から中級で養う「話す力」	3	2	135	柳田直美
Step1	初級から中級の「話す力」とは				
Step2	教師の役割：「自発的な発話」をサポートする				
Step3	一問一答からまとまりのある発話へ				
Step4	カジュアル・フォーマルの使い分け／聞き手としての「聞く力」				
サブタイトル②	上級で養う「話す力」「議論する力」				
Step1	上級の「話す力」「議論する力」とは				
Step2	教師の役割：「自律的な学習」をサポートする				
Step3	話す力・議論する力の基礎「説明力」を磨く				
Step4	アカデミック場面の話す力・議論する力を養成する				
Step5	ビジネス場面の話す力・議論する力を養成する				
13-3 作文・論文の指導法					
サブタイトル①	論理的な文章作成のプランニング	3	2	135	高橋薫
Step1	人はどのように文章を書いているのか				
Step2	論理的な文章とは				
Step3	作文のプランニングを指導する				
サブタイトル②	論理的な文章作成と推敲				
Step1	パラグラフライティングとは				
Step2	引用表現の指導				
Step3	ピアレスポンスと教師フィードバック				
13-4 教案作成					
サブタイトル①	教案を書こう	1.5	1	67.5	倉本文子
Step1	教案の目的と内容				
Step2	教案を準備する順序				
Step3	教案で授業準備				
Step4	教案で授業改善				
13-5 教材作成					
サブタイトル①	学習者にあった教材を作る	4.5	3	202.5	藤本かおる
Step1	学習者にあった教材を作る1(絵教材)				
Step2	学習者にあった教材を作る2(プリント教材)				
Step3	学習者にあった教材を作る3(ネット素材を使った教材)				
サブタイトル②	授業にICTを取り入れてみよう				
Step1	授業にICTを取り入れてみよう				
Step2	目的に合ったICTを考えてみよう1				
Step3	目的に合ったICTを考えてみよう2				
サブタイトル③	教材を評価し改良する				
Step1	教材を評価する				
Step2	教材を改良する				
Step3	学習者のニーズを教材に反映する				
13-6 評価法					
サブタイトル①	学習を評価する	3	2	135	高橋薫
Step1	評価とは何か				
Step2	学習者による自己評価-自律的な学習者になるために-				
Step3	ルーブリックを活用したパフォーマンス評価				
サブタイトル②	授業を設計し評価する				
Step1	インストラクショナルデザインとは何か				
Step2	ADDIEモデルで授業を設計する				
Step3	授業を評価する				

H30
試行対象

1コマ

1コマ

授業内容 (サブタイトル、Stepタイトル) 1単位 (45分) にサブタイトル1つ 1単位のStepは3または4	単位数	コマ数 (1コマ 45分)	授業時間 (分)	担当者	H30 試行対象
14. 演習 (実践力ワークショップ)	10	10	450		2コマ
14-3 演習 (実践力ワークショップ)					
集合研修	集合研修	28	22		

15. 演習 (自己点検)		10	2	450	金田智子
サブタイトル①	教育実践についての内省				
Step1	授業の前後にどんなことを行っていますか				
Step2	「他人の振り返り見て、我が振り返り直せ」?				
Step3	授業についての振り返り方を変えるために				
サブタイトル②	授業分析ー前向きな振り返りのためにー				
Step1	映像、そして文字化作業からわかること				
Step2	教師の発話に注目してみよう				
Step3	学習者の行動に注目してみよう				
Step4	小さな工夫が授業を変えるースモール・チェンジのすすめー				
16. 演習 (自己点検実習)		14	34	630	
経験の振り返り 内省力の強化 経験を通じた学び	⑧演習 (自己点検: 経験の振り返りや議論等を通じた内省力の強化、経験を通して学ぶ力の育成) ・授業撮影→授業分析→自己点検レポート				
17. 演習 (相互評価)		4	0	180	
経験の振り返り 内省力の強化 経験を通じた学び	⑧演習 (相互評価: 自己点検の相互評価) ・自己点検レポート→相互評価				
自己研修	自己研修	28	36		

映像講義+集合研修+自己研修

映像講義科目の単位数 1コマ45分+自学自習時間=1.5単位

★自己研修は、自学自習の時間が多いので、1コマ45分+自学自習時間=5単位

演習科目の単位数 1コマ45分=1単位